

あるま・めーと



愛・母(フランス語)ニ三愛精神の母校が絆きずな

酪農学園関東同窓会会報

発行者 酪農学園関東同窓会

〒100-0006 東京都千代田区有楽町2丁目10番1号

東京交通会館11階 酪農学園東京オフィス内

電話 03-6269-9955

発行責任者 関東同窓会会長 南雲 良三

関東同窓会この一年を顧みて

関東同窓会会長 南雲 良三
(短大8期)



この一年は皆様も記憶に新しい3・11東日本大震災とその後の放射能による二次災害、また台風12号・15号による暴風雨被害。自然災害の前に打ちのめされた一年でした。被災された皆様には心からお見舞い申し上げるとともに、一日も早い復興をお祈りいたします。その後の放射能汚染については、東北地方のみならず関東全域にも大きなダメージを与え、我が国の経済活動にも影響が出ております。特に本学の同窓生にも農業を営む方々はもとより、各分野でご活躍の皆様にとっても厳しい試練の1年となったことと存じます。

さて関東同窓会にとって3つの出来事を皆様にご紹介したいと思います。

1つは、既にご存じのとおり東京事務所が東京オフィスと名を変え東京の有楽町駅前に移転したことです。学園改革の一環として、今年度より従来の学部学科が改組され、新たに2学群5学類、短期大学の廃止(募集停止)となったわけですが、これらは農・食・環境・生命を総合的に学び特色ある大学としての地位を確保し、次世代への存立を図ることではないかと考えます。その為には、より多くの志願者を集め、優秀な生徒を確保する必要があります。有

楽町という東京の交通至便なところにオフィスを構えることにより、一人でも多くの方々に我が酪農学園を知っていただき、そして見ていただくということが出来れば、その目標に一步でも近づくことになるのではないかと思います。

2つ目は、長年の懸案でありました関東同窓会長野県支部が、関係者のご努力により4月めでたく発足したことです。これにより関東地域1都9県(東京、神奈川、千葉、埼玉、群馬、茨城、栃木、山梨、新潟、長野)すべてに同窓会支部を設立することが出来ました。これにより関東地域に在住するすべての同窓生に地域での参加を促すことが出来るようになりました。同窓会の支部活動は、それぞれの支部により大きな差異があり問題も多々ございますが、これを機会により多くの会員の方々の参加をお願いしたいと思います。

3つ目は、各県支部に同窓生による入試アドバイザーの配置がスタートしたことです。学園本部からの“学生・生徒の募集活動に係る支援のお願い”に基づき、今年度その第一弾として、神奈川・埼玉・群馬・栃木・山梨の各県に本学同窓生による入試アドバイザーの方々を選任させていただくこととなりました。入試アドバイザーの方々は長く教育業界に係ったその道の大ベテランの方々です。本学を大いにPRしていただき、多くの受験生を送り込むよう期待しております。今後に残る支部での選任作業を続けていく所存です。

以上 関東同窓会として この一年間の主

だったことを述べてみました。今後とも同窓会活動を行う上で様々な問題があることは皆様もご承知のことと思います。若手・女性の参加者が少ない。参加者はいつも同じ顔ぶれ。高校・短大・大学・その他単独の同窓会との横の連携が十分でない。財政はどうする、個人負担に任せていて良いのか等々、ざっとあげてもきりがありません。しかし会員相互の“絆”を深めお互いに理解しあい同窓会活動を前進させねばなりません。皆様方のより一層のご協力ご支援をお願いしたいと思います。

東日本大震災 現地報告

茨城県水戸市「橘牧場」からの報告

茨城県支部：橘 和宏

(農経19期)

あの時から早いもので半年が過ぎてしまった。そう、あの時とは、東日本大震災の事である。当時私は、昼食を終え、牛舎に向かう途中激しい揺れに襲われた。立っていることができないぐらいの揺れで、パドックに出してあった牛は走り駆け回り、繋いであった牛は啼き叫び、大変な状態であった。幸いにも住宅や牛舎には大きな被害もなく、家族も無事であった。しかし、これからが「橘牧場」にとって悪夢の始まりであった。

まず、電気・水道が不通。結局その日は搾乳ができず、二日目に入っても電気が通じず、さ

すがののんびり屋の私もこれは大変だと思い、日本農業実践学園から共進会の時に使用する真空ポンプを借りてきて搾乳を始めたのが10時。普通の酪農家なら3月4月は乳量のピークを迎える時期である。それにもまして、一日半搾乳をしておらず、30kg入りのバケツがすぐに一杯になってしまった。この辺りでは早い方であるが昼過ぎには通電し、重労働からは解放され、搾乳ができるようになった。その日の夕方には水道も復旧し、洗浄もできるようになった。しかし、茨城県の乳業メーカーや紙パック工場の被害は甚大で、結局10日間は自己廃棄を余儀なくされてしまった。

その後3月22日には集乳を再開できたのも束の間であった。今度は東京電力福島第1原発の水素爆発によって茨城の原乳から放射性物質が検出され、またも自己廃棄をせざるを得なくなった。それからの20日間はいつまで牛乳廃棄が続くのか全く分からない状態で、まさに生きた地獄であった。結局、集乳が再開されたのが4月11日。長い長い20日間になってしまった。

このように百年に一度、いや千年に一度の大災害に遭遇し、この世に存在していることに感謝したい。それと同時に亡くなられた方々のご冥福を祈りたい。

最近の支部便り

千葉県支部

支部長：増田 澄夫

(酪農8期)



千葉県支部長を前支部長の唐仁原さんからお引き受けして早7年が過ぎました。その間、北海道や九州への転勤で総会は3回しか開催できず支部長としての責任を全うできずに誠に申し



震災直後の気仙沼市

訳ございません。今なお九州勤務の状態です。近年の支部活動は休止状態です。

今夏より前支部長の唐仁原さんが千葉へ戻られました。今後の支部運営については電話にて僅かながら話し合いました。来年6月前後に支部総会を開催し支部組織の今後を明確にし、活発な活動にしてゆきたいものです。

千葉県支部活動の課題は若い同窓生の参加を促すことと考えます。各支部のご援助をいただきながら課題をクリアーしたいものです。今後ともよろしくお願い申し上げます。

埼玉県支部

支部長：後藤 久雄

(機農農経1期)

継 続 は 力



埼玉の奥座敷神泉冬桜の名所霧ヶ峰・長瀬・神泉ペンション「ウエンテラー」等で15年間地元の今井賢太郎夫婦・浅見隆男夫妻・細渕司さん・OBの父兄で地元酪農家新井湧治さん等のご尽力で、一時は40名近い参加者で酪農学園の思いを語り合う楽しい一泊家族キャンプで、翌日は余韻残しながら解散です、来年も家族で来るぞ。

埼玉県支部の特徴は、とわの森三愛高等学校遠征行事・「彩の国進学フェア」等の支援・「わくわくモーモースクール」で活躍している亀田康好・吉田恭寛・青木大輔各氏が酪農教育ファーム推進として、幼稚園・小学校等へ出前体験授業で「乳牛、見て触れて」を酪農のPRに貢献されています。

以上で、400字です、まだまだ書きたいが、残念！



新潟県支部

支部長：石月 晋

(酪農学科1期)



我が支部は、平成19年の設立で関東ブロックに所属させて頂き、活動の歴史は浅く、今後の活動を少しでも良い方向に持っていくにはどのような方策があるか、苦慮しているところです。

活動としては、年1回の総会のみですので、できるだけ多くの会員の皆様の参加を願っておりますが、出席者は20名弱です。

支部活動強化のために、役員数の増員を提案し承認されましたが、選出に手間取り完了していません。

広い県内会員の動向や意見を集約しやすくするため、上・中・下越・佐渡等のブロックごとの活動も1つの方策だと思います。県内会員とは、約200名(?)連絡がとれますので、同窓会活動の意義を理解してもらい、協力・援助をお願いし、行動に移してもらうことが大切だと思います。

役員の増員については前述しましたが、できるだけ若い人に先頭に立っていただき、リーダーシップを発揮してもらえようように努力を続けたいと思います。

山梨県支部

山梨県支部長：平島 勝教

(獣医学科7期)

ベクレルとシーベルト



この度、支部活動について投稿を依頼されましたが、山梨県支部は平成19年に設立し、まだ日が浅いこと、あまり無理をしなく自然体でいきたい。などの趣旨で今のところ年1回の総会と来賓の

方々からの講演会や親睦会の開催を実施しており、皆様に紹介するほどの活動は実施していないのが現状です。そこで、今後の支部活動のあり方、発展方策など忌憚のないご意見を皆様からお寄せいただければ幸いです。連絡先：TEL 0551-36-5078（自宅 FAX も同）

言うことで、これ以降につきましては、今、全国的に問題になっている放射能汚染問題について山梨県の状況について投稿させていただきます。

ベクレルとシーベルトは、ロミオとジュリエットのような響きですが、恐ろしい放射能の単位でした。この言葉を聞いたのが、あの3・11以降であり、実際係わってきたのが山梨県にも一部放射能汚染牛肉が流通しているとの報道があつてからです。すぐに、お茶は？野菜は？果物は？肉は？牛乳は？と大騒ぎになりました。BSEの発生時は牛肉だけでしたが、今回は日本あるいは県内で生産される食物はすべて疑われ、放射能検査が求められました。我が勤務先であります酪農試験場からも研究員が検査のため出労したのが、8月に入ってからです。まず、牛乳、牛肉、今後は稲ワラ、堆肥と検査していくと思われます。特に牛肉の風評被害は著しく正にBSE発生時と同じ現象が起きました。枝肉価格がリーマンショック以降20%下落し、放射能問題でさらに20%下落しました。しかしながら山梨県はスピーディーな対応で被害も最小限に留まっておりますが、リーマンショック以前までは回復しておらず、畜産農家の厳しい経営が続いております。

ご存じのとおりベクレルは放射能の発生側（セシウムなど）の強さを表す単位。シーベルトは放射線を受ける側（人間・食物など）で被爆の影響を表す単位だそうです。具体的には子供の許容限度量は年間1ミリシーベルト以下と言われていますが、セシウム137に汚染された200ベクレルの水1リットルを1年間365日経口摂取し続けた場合の数値になりま

す。国で示した暫定基準値は、水・牛乳は200ベクレル、牧草・稲ワラ300ベクレル、堆肥400ベクレル、野菜・穀物・肉・卵は500ベクレル以下となっています。我々中高年は20ミリシーベルトでも問題ないようです。いずれにいたしましても、東日本の早くの復興を心よりお祈り申し上げます。

東京都支部

東京都支部長：五十嵐 建夫
（農経3期）

見えないモノ

このところヒョンな事が続いている。そもそも今年は3・11があつてヒョンな事が多い。気象からして“異常”だし、台風の来きかたも異常で、この上まだ何かヒョンな事が起きるのかと不安を増長していると感じている。

先日、定期的に農業生産者と持っている会合でもあつた。3・11以来、見えない物に不安を感じ、説明を求められて苦労している話だ。個別の作物でミリデシベルとかを測っているが、私の食べる物は大丈夫か。その数字は大丈夫かと、個別具体的に問われて答えようがないとの事。しかも、応え方一つでまた、不安を与えろと言う。個体での抵抗性や受ける量の差があり、しかも反応にも差がある。

様々な考えはあろうが、決定的なのは既に見えないものを人類は使っているということで、しかも世界中あちこちにあり、一つだけ、あるいは日本だけやめてもいずれどこかであり続ける段階に入っている。さらに、それはなくなるまでに、ほぼ個人にとって永遠だということだ。

永遠などと言う言葉は久しぶりで、詩か何か出しかお目にかからないが、日常生活にヌーと現れた。これもヒョンなことで、ひたすらトラブルを起こさないようにコントロールをよろしくということのようだ。

さらに、アメリカで1パーセントの裕福と9

9パーセントの・・・とかで、中東と同じような“蜂起”が起きた。これもヒョンな事で、この現況を作ったうちの一人はリンゴの印を残してあの世に行った。

全状況を考えるとあらゆる困難な中を、先の見通しもなく、ひたすらごく一部の専門バカに頼りながら、人類の滅亡に向かうか、それとも全てをコントロールされる生活になるであろうと思わざるを得ない今日である。ヒョンな事がこれ以上蜂起しないことを祈りつつ。

しかし、見えないモノに真実が隠されていると言う。同窓会も見えないモノに十分気をつけていきたい。

その他支部 支部長ご紹介

神奈川県支部 支部長 田中道明
(酪農17期)

群馬県支部 支部長 三田 孝幸
(獣医6期)

栃木県支部 支部長 益子 勲
(酪農1期)

茨城県支部 副支部長：上野 達
(短大10期)

長野県支部 支部長：田中 清司
(獣医5期)



入試アドバイザーご紹介

進学情報があれば、地区担当の入試アドバイザーまたは東京オフィスにご連絡ください。



平賀 教政

酪農学部酪農学科

1977年3月卒業(第14期)

電話：070-5552-7190

神奈川県担当



勝村 直喜

酪農学部酪農学科

1969年3月卒業(第6期)

電話：055-226-5586

山梨県担当



北畑 光男

酪農学部酪農学科

1970年3月卒業(第7期)

電話：0495-33-2876

埼玉県担当



大場 泰子

酪農学部酪農学科

1972年3月卒業(第9期)

電話：0273-52-9065

群馬県担当



橋本 幸雄

酪農学部酪農学科

1975年3月卒業(第12期)

電話：0287-88-7712

栃木県担当



平成23年度関東同窓会総会の報告

関東同窓会事務局長 城近 泰

関東同窓会の総会が、7月23日（土）に移転後の酪農学園の東京オフィスにて初めてされました。今年も東京都支部との合同開催となっております。

開催当日は、大学から御出でになった暑さに弱い来賓の方々も、涼しい日で助かったというほどの会議日和でした。

議長に中島事務局長、書記に渡會事務局次長を選出し議事審議に入る直前に、緊急動議が出されました。その内容は、関東同窓会には会則上本日出席の長野県・新潟県支部は含まれていない。これらの支部が出席している以上この会則と異なる総会は成立しないのでは、むしろ関東同窓会の名称を関東甲信越同窓会と改称すべきであるとのものでした。それに対し南雲会長から、まず総会は成立させてほしい。ついで同窓会の名称及び会則は後日理事会を開催して検討し、次回総会に諮りたい旨の回答があり

ました。

議場は南雲会長の回答を承認し、議事進行を行いました。総会議事の1号議案 平成22年度事業報告・決算報告、2号議案 平成23年度事業計画・予算 3号議案 役員改選はいずれも、執行部原案通り承認可決されました、

今年は「新規乳酸菌とセルラーゼの利用によるサイレージ調整法の開発と普及」に関する研究業績により、第8回（平成22年度）畜産技術協会賞を受賞された安宅一夫教授の記念講演がありました。実学一如の教育理念が具現化された内容を、PC 画像にて懇切丁寧に説明され、一同は理解を深めるとともに受賞の喜びとともに感じ合いました。

南雲会長は、東日本大震災で被災した同窓生も多くいたが互いに連絡を取り合い支えあう「絆」がいかんなく発揮されました。同窓会活動もこのキーワード「絆」で言い表せるのではないだろうか。これからも「絆」を深めていきたいと挨拶され総会は終了しました。

平成22年度の事業実績及び平成23年度の事業計画は下表のとおり承認されました。

平成22年度事業報告・平成23年度事業計画			
平成22年度事業報告		平成23年度事業計画	
月・日	内 容	月・日	内 容
4月28日	21年度会計監査	4月21日	22年度会計監査
5月16日	山梨県支部総会	5月14日	長野県支部設立総会
		5月15日	山梨県支部総会
6月13日	埼玉県支部総会	6月12日	埼玉県支部総会
		6月29日	白樺会総会
7月3日	新潟県支部総会	7月15日	役員会
7月16日	役員会	7月23日	総会(東京都支部合同)
7月24日	総会(東京都支部合同)		
		8月6日	新潟県支部総会
9月18・19日	埼玉県支部キャンプ	9月10・11日	埼玉県支部キャンプ
		9月23日	白樺会セミナー
10月7日	会報編集委員会	10月1日	東京都動物感謝デー
10月11日	神奈川県支部総会	10月30日	神奈川県支部総会
10月30日	高校関東地区同窓会	10月	高校関東地区同窓会
		11月	関東同窓会・東京都支部共催交流会
12月4日	4役会及び理事会	12月1日	大学公開セミナー
		12月	理事会
1月22日	4役会	1月	会報「あるまめーと」発行
1月22日	東京オフィス披露会	1月	交流会
2月21日	入試アドバイザー説明会		
3月11日	関東大震災発生・被害甚大	3月	4役会



関東同窓会出席者一同

		機農・農経Ⅰ期
文化庁選択無形民族文化財		
脚折司乞行事保存会		
(平成24年8月5日開催)		
雨乞行事 委員	後藤 久雄	
〒350-2213	鶴ヶ島市脚折1484-24	
携帯	090-8327-2492	
E-mail	hgo510@w7.dion.ne.jp	
埼玉県支部	支部長	

酪農学園同窓会栃木県支部

酪農1期

支部長 益子 勲

〒321-0135 宇都宮市五代三丁目5-43
tel. 028-653-9762ANIMAL
CARE
HOSPITAL

獣医2期

動物愛護病院

〒184 小金井市緑町4-2-3
tel. 042-383-5463
fax. 042-384-1134

院長 河野 勝

有限会社ハラダエンジニアリング
一般住宅塗装・内装工事

代表取締役 原田 國明

連続繊維施工士

〒194-0022

東京都町田市森野5-3-32

tel & fax 042-727-2924

(携帯) 090-7173-9792

機農・農経6期

酪農学園同窓会栃木県支部

酪農6期

副支部長 桑島 信也

〒321-0135 栃木県宇都宮市五代3-7-18
tel. 028-653-2625

北畑光男さん 詩集出版のご案内



北畑光男さんは関東同窓会埼玉県副支部長として、また今年より入試アドバイザーとして活躍しております。彼は岩手県の出身で昭和45年本大学を卒業し、高校で教鞭をとる傍ら詩作を重ね、今回8冊目の詩集「北の蜻蛉」を花神社より出版いたしました。

この詩集では、ますます円熟味を増し、詩の思想が深化しているのがうかがえます。この詩集は勿論のこと彼のこれまでの作品は、長い歴史の中で冷害や震災等により飢餓に苦しめられ、そこから不屈の精神で立ち上がってきた東北の風土が色濃く滲み出ています。

もとより言語の持つ力は、相互に理解を深めコミュニケーションを高めるところにあるが、彼の詩の言語は、決して減ぶことのないあらゆる生物の魂（彼は人間も動物も植物も同じと見る）と慈悲の心で交感しあうところに大きな特徴があります。

このたび北畑さんより、この詩集の売り上げの一部を同窓会に寄附したい旨の申し出がありました。そこで是非皆様にこの詩集をご購入下さるようお願い申し上げる次第であります。宜しくお願い致します。(価格: 本体 2,000 円 + 消費税) (関東同窓会事務局長 城近 泰)

酪農学園関東同窓会 役員名簿			
(任期:平成23年4月~25年3月)			
会 長	南雲 良三	短大8期	埼玉県支部相談役
副 会 長	岡田 勉	酪農学科2期	千葉県支部顧問
	五十嵐 建夫	農経学科3期	東京都支部長 (あるまめーと編集員)
	後藤 久雄	機農農経1期	埼玉県支部長
	斉藤 達夫	酪農学科4期	栃木県支部事務局長
	北村 直人	獣医学科4期	東京都支部理事
事務局 長	城近 泰	酪農学科7期	埼玉県支部副支部長 (あるまめーと編集員)
事務局次長	渡會 福次郎	酪農学科3期	埼玉県支部事務局長 (あるまめーと編集員)
会 計	田中 道明	酪農学科17期	神奈川県支部長
理 事	益子 勲	酪農学科1期	栃木県支部長
	三田 孝幸	獣医学科6期	群馬県支部長
	平島 勝教	獣医学科7期	山梨県支部長
	石月 晋	酪農学科1期	新潟県支部長
	田中 清司	獣医学科5期	長野県支部長
	小松 泰史	獣医学科14期	白樺会
	満澤 恵治	機農農業21期	長野県副支部長
	平山 久	短大6期	栃木県副支部長
	小浦 隆文	酪農学科13期	千葉県支部理事
	西井 義昭	短大13期	東京都支部監事
	安達 宗之介	酪農学科3期	神奈川県支部副支部長
	大津 初司	短大16期	群馬県支部副支部長
	上野 達	短大10期	茨城県支部副支部長
	古橋 治巳	獣医学科4期	茨城県支部事務局長
	斉藤 洋	農経学科5期	神奈川県支部事務局長
	渡辺 仁	酪農学科21期	山梨県支部事務局長
	須田 利明	機農農経1期	後援会常務理事 (あるまめーと編集員)
	高澤 靖	農経学科6期	東京オフィス所長 (あるまめーと編集員)
	佐々木 六朗	短大11期	埼玉県支部監事 (あるまめーと編集員)
	志村 智子	短大33期	あるまめーと編集員
	野島 加代子	三愛高7期	埼玉県支部副支部長
	角 真知子	三愛高9期	神奈川県支部
	田中 可子	三愛高8期	東京都支部副支部長
理 事・監 事	福山 二仁	獣医学科3期	東京都支部理事
	中島 剛	酪農学科3期	東京都支部理事
顧 問	藤村 翼	酪農学科2期	神奈川県支部顧問
	小宮 俱子	獣医学科1期	埼玉県支部理事
	古田 修吾	酪農学園創期	
	八重樫 鉄男	短大1期	
	草地 道一	短大1期	
	戸水 雅智	短大3期	
	野田 修平	短大6期	

酪農学園同窓会連合会副会長 短大8期
酪農学園関東同窓会 会 長

南雲 良三

〒350-1165 埼玉県川越市南台3-2-7 301
電話 049-244-0070
携帯 090-2148-3957

酪農学園同窓会栃木県支部 獣医3期

副支部長 荒 井 徹

〒329-2707 栃木県那須塩原市高柳2-106
tel. 0287-37-1289

酪農 1期

酪農学園同窓会連合会山梨県支部長
昼間のうどん屋<定休日 水・木>
水墨・墨彩画教室

墨游庵 高橋 僚一

〒408-0036 山梨県北杜市長坂町中丸2, 105-1
Tel. 0551-32-3076

SHINJUKU VETERINARY CLINIC

新宿動物病院

院長 高橋 恒彦 獣医18期

本院: 東京都新宿区新宿7丁目11番5号けやきハウス2F
Tel 03-5272-1323(代) Fax 03-5272-1878
豊島分院: 豊島区南長崎2丁目21番9号オーシャンナイン
Tel 03-5982-1377(代) Fax 03-5982-1366

KVS CO.LTD今井家畜診療所
児玉家畜ETセンター

獣医5期

代表 今井 賢太郎

〒367-0253 埼玉県本庄市児玉町河内858-1
Tel: 0495-78-0241 fax: 0495-78-0509

●和牛体内受精卵の生産・販売(宅配可)
●牛体内受精卵の出張採卵(北関東のみ)

2012年度募集活動

(酪農学園大学からの資料より)

1.2011年 実施内容

- ①資料請求者の増大 ⇒
基幹媒体であるリクルートへの出稿増大。
- ②進学相談会の増大 ⇒
札幌市と西日本 30会場増。
- ③オープンキャンパスの増大 ⇒
8月開催を新設。
- ④新設の獣医保険看護学類を集める ⇒
新設パンフレット作成とDM企画。

2.2012年実施内容

- ①進学相談会を増やし、オープンキャンパスへ繋げる。
- ②資料請求者の出願率・入学手続き率アップのためのフォローツール作成(ブレラインパンフ、OBパンフ)。
- ③新体制のさらなる広報活動のため、DVD作成。
- ④東京オフィス内の入試広報ツール作成。

3.2010年酪農学園大学入試資料請求者数について(下表の通り)

地域別資料請求者比較

	2009	2010	増減	前年比
北海道	4,087	5,703	1,616	139.5
東北	826	1,207	381	146.1
関東6県	1,504	2,156	652	143.4
東京	797	1,093	296	137.1
中部	1,073	1,401	328	130.6
近畿	1,087	1,426	339	131.2
中国	270	444	174	164.4
四国	165	249	84	150.9
九州	620	811	191	130.8
その他	105	152	47	144.8
合計	10,534	14,642	4,108	139.0

太田屋牧場

酪農19期

太田屋 進

〒351-0033
埼玉県朝霞市浜崎390-27
tel&fax 048-456-1852
Email ootayafarm@yahoo.co.jp

日本獣医生命科学大学客員教授
酪農学園大学特任教授
学校法人酪農学園Executive Senior Adviser
酪農学園大学獣医学科同窓会会長
社団法人 日本獣医師会

獣医4期

顧問 獣医師 北村 直人

衆議院前議員(昭和61年~平成17年)

〒107-0062東京都港区南青山一丁目1番1号 新青山ビルディング西館23階
tel.03-3475-1601(代) fax.03-3475-1604

イタリアンレストランチェーン 酪農2期
世界最大800店

監査役
岡田 勉

株式会社サイゼリヤ
〒342-0008 埼玉県吉川市旭2-5
TEL. 048-991-9611 FAX. 048-991-9637
携帯: 090-7265-6664
E-mail: T.Okada@saizeriya.co.jp

獣医師

酪農19期

佐藤 至

ITARU SATO

アミーペットクリニック

〒164-0002東京都中野区上高田2-54-8
TEL. 03-3389-7860 FAX. 03-3389-7859

Kanamachi Animal Clinic
金町 アニマル クリニック

獣医15期

院長 増田 寿子

東京都葛飾区金町2-29-6 KACビル1F
Tel. 03-3609-7517 Fax. 03-3609-3515

株式会社ゼンチク販売

酪農13期

代表取締役
社長

川上 幸二

〒140-0001 東京都品川区北品川1-8-11
ダヴィンチ品川II 8F
TEL. 03-5783-7401(代表)
FAX. 03-5783-7410

酪農学園同窓会栃木県支部

農経13期

副支部長 後藤 栄一

〒329-2732 那須塩原市1区町288
tel. 0287-36-0051

酪農学園同窓会栃木県支部

酪農4期

事務局長 齊藤 達夫

〒321-0404 栃木県宇都宮市芦沼町2762
tel. 028-674-2119

富士食品工業株式会社

酪農21期

工場長 渡辺 仁

山梨県山梨市鴨居寺170 TEL.0553-22-2611(代)
FAX.0553-22-4125

食品の衛生・安全・安心を供給する

理工協産株式会社

酪農13期

取締役エクリン営業部長 小浦 隆文

〒104-0028
東京都中央区八重洲2-8-1 日東紡ビル
tel 03-3281-8821 fax 03-3281-8215
URL <http://www.ricohkyosan.co.jp>

ケペル動物病院

獣医15期

院長
獣医師 大橋 透〒165-0027 東京都中野区野方6-6-2
tel. 03-3338-3554

編集後記

長年にわたり編集を担当してきた佐々木六朗さん(短大11期/埼玉県在住)が退任して、私が担当することになり、佐々木さんのご苦勞が身に沁みてわかった気がします。ここまで「あるまめーと」を充実・発展させてきた佐々木さんに改めて感謝したいと思います。

2011年は、3月11日に発生した「東日本大震災」による大きな被害(地震と津波)とそれに起因して発生した東京電力のいつ終息するかわからない原子力発電の破損による放射能汚染が日本の国に大きなダメージとなって尾を引いております。我が酪農学園の卒業生の被害もかなり大きく、同窓会としても心を痛めておりますが、このような災難に対して日本人の絆により強く生き延びたいものです。

会報をより一層充実・発展させるのは皆さんからの投稿によりますのでよろしくお願いいたします。

(編集委員紹介)

編集長: 渡會 福次郎(酪農3期)、編集委員: 城近 泰(酪農7期)、須田 利明(機農1期)、五十嵐 建夫(農経3期)、高澤 靖(農経6期)です。頑張りますので、宜しくお願い致します。(渡會記)